



今年度の「きらり☆こうとう俳句祭」は、3月1日（土）に江東区教育センター大研修室にて開催されました。俳句選者のお二人や区長、区議会議員、教育長、教育委員、俳句講師をお招きし、中学校俳句部員の呼名で、36の受賞俳句が表彰されました。区立小中学校、義務教育学校に在籍している全ての小中学生が参加する大会です。今回で11回目になります。学校に派遣されている俳句講師は現在6名いますが、3名の講師が子どもたちに会いにきてくれました。

本多教育長から「皆さんは、約34,000人の代表です」というお話をいただきました。さらに「俳句集きらり第2集」から、家族をテーマに詠んだ俳句を紹介していただき、会場に暖かい空気が流れました。大久保区長からは「17音なのに、みんな違ったものになっていてとても素敵」「豊かな創造性を育むことができている」と言っていました。

最優秀俳句6句、特選30句の表彰後、区長賞受賞俳句の作者にその俳句の背景を伝えてもらいました。

<小学生の部 区長賞> 人のこえきたぞきたぞと秋祭 小学校5年生児童
・地域の団地のお祭りに行った。人がたくさん出ていて賑やかだった。

焼きそばやいか焼きの屋台が出ていたから買ってもらった。うれしかった。

<中学生の部 区長賞> 庭先の柚香るとき祖父の顔 中学校3年生生徒
・祖父の家の庭に柚の木がある。遊びに行っておいしい物を一

緒に食べたり、柚の実をもらってきたりしている。帰宅後、持ち帰った柚の香りに気付くたび、祖父のことを思い出す。

俳句選者の田中亜美様、阪西敦子様に表彰俳句の良さをお話いただきました。最後に、「江東区立中学校俳句部」の部員による俳句部活動紹介があり、俳句部で学んだことや思い出を伝え、入部へアピールしました。

「俳句集きらり」は区内図書館にも置かれています。是非、お手にとっていただけますようお願いいたします。

